

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

「IT パスポート試験 平成 31 年度春期分」の出題傾向分析について

日頃は、FOM 出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

情報処理推進機構(以下、IPA)より4月21日(日)に公開された「IT パスポート試験 平成 31 年度春期分」の出題傾向を分析しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

【留意事項】

IPA より公開されるのは、CBT 試験に出題されている問題から 100 問を抜粋したものです。この問題は、春期・秋期試験に合わせて年 2 回公開されることになっています。

なお、CBT 試験では、受験者ごとに様々な問題がランダムに出題され、同日同会場を受験しても、同じ問題が出題されるわけではありません。

以上の内容をご了承の上、分析結果をご利用ください。

記

1. 出題傾向

平成 31 年度春期分として公開された問題の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに直近 2 回分(平成 30 年度春期分、平成 31 年度秋期分)の数値も記載しています。

●**カテゴリ別**

カテゴリ	大分類	H30 春 出題数	H30 秋 出題数	H31 春 出題数
ストラテジ系	企業と法務	18 問	16 問	17 問
	経営戦略	9 問	12 問	9 問
	システム戦略	8 問	7 問	9 問
	小計	35 問	35 問	35 問
マネジメント系	開発技術	3 問	3 問	5 問
	プロジェクトマネジメント	8 問	9 問	6 問
	サービスマネジメント	9 問	9 問	10 問
	小計	20 問	21 問	21 問
テクノロジー系	基礎理論	3 問	2 問	3 問
	コンピュータシステム	11 問	9 問	9 問
	技術要素	31 問	33 問	32 問
	小計	45 問	44 問	44 問
全合計		100 問	100 問	100 問

●問題形式別

問題形式	H30 春 出題数	H30 秋 出題数	H31 春 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	44 問 (44%)	44 問 (44%)	46 問 (46%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	43 問 (43%)	43 問 (43%)	42 問 (42%)
計算(数値や計算式を求める問題)	10 問 (10%)	9 問 (9%)	8 問 (8%)
表計算(表計算ソフトの利用が問われる問題)	1 問 (1%)	1 問 (1%)	1 問 (1%)
データベース(データベース設計の知識が問われる問題)	2 問 (2%)	3 問 (3%)	3 問 (3%)
合計	100 問 (100%)	100 問 (100%)	100 問 (100%)

※問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 公開問題分析

平成 31 年度春期分として公開された問題は、これまでとほぼ同等の標準的な難易度でした。

今回の試験の特徴は、次のとおりです。

- 2018 年 8 月に改訂された「シラバス Ver.4.0」では、IoT やビッグデータ、AI など第 4 次産業革命に関連する項目や、アジャイルなどの新しい手法に関連する項目が数多く追加されました。また、最新の情報セキュリティ分野の内容も追加されました。

「シラバス Ver.4.0」で追加された新出用語からは、「AI(人工知能)」「LPWA(Low Power Wide Area)」「RPA(Robotic Process Automation)」「5G」「チャットボット」「アジャイル開発」「不正指令電磁的記録に関する罪」「不正のトライアングル(機会・動機・正当化)」「リーン生産方式」が出題されています。

※弊社の書籍「2019 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集」(シラバス Ver.4.0 対応版)では、今回出題されたシラバス Ver.4.0 からの新出用語の解説について、「リーン生産方式」を除いた全てをカバーしています。

- 今回も「技術要素」の中分類「9-5 セキュリティ」からの出題数が 18 問と多かったです(全 100 問中の構成比として約 2 割を占めます)。なお、前回の平成 30 年秋期分では 19 問、前々回の平成 30 年度春期分では 18 問であり、継続して約 2 割出題されています。主な出題内容として、サイバー攻撃では「ランサムウェア」「ドライブバイダウンロード」など、セキュリティ対策・技術では「パスワード盗聴対策・総当たり攻撃対策」「公開鍵暗号方式」「デジタル署名」「WPA2」「バイオメトリクス認証」「VPN」「物理的セキュリティ対策」などが出題されており、セキュリティに関する幅広い知識が要求されました。今後も同様に高い比重で出題されることが予測されるため、試験対策として用語の意味をしっかりと理解しておく必要があります。

- 「企業と法務」からの出題が 17 問と多かったです。中分類「1-1 企業活動」と中分類「1-2 法務」から構成されます。

中分類「1-1 企業活動」からは 9 問であり、「営業利益の算出」「製造に必要な原材料の算出」「毎月の利益を上げるための Web サイト来訪者数の算出」「売上高利益率の算出」など、これまでと同様に様々な計算問題が出題されました。営業利益を算出するには損益計算書の概要(公式)をしっかりと理解しておく必要があります。公式を必要としない計算問題は、問題文で与えられた条件を正しく理解すれば、解くことが可能です。

中分類「1-2 法務」からは 8 問であり、「不正アクセス禁止法の規制対象」「著作権法の保護対象(プログラム)」「実用新案権の保護対象」「公益通報者保護法の規制対象」など、これまでと同様に主要な法律に関する問題が出題されました。法律が規制する対象や、保護する対象などを問う問題が出題されており、試験対策として主要な法律の概要をしっかりと理解しておく必要があります。

- 問題形式で見ると、「事例」問題は 42 問、「用語」問題は 46 問、「計算」問題は 8 問となっており、前回とほぼ同様の傾向でした。「事例」問題を解答するには、単純な用語の暗記だけではなく、関連する周辺の知識まで理解しているかどうかは鍵となります。ただし、試験としては、全体を通して引っ掛け問題や考え込むような複雑な問題はほとんどなく、比較的わかりやすい問題といえます。

- シラバスに記載されていない内容としては、「CMS(Contents Management System)」「ギャップ分析(EA で活用)」「マスタスケジュール」「ショルダーハック(ソーシャルエンジニアリングの分類)」などが新しい問題として出題されています。(当社テキストは競合他社に比べて、シラバスの内容の網羅率が圧倒的に高い状況です)

3. 試験動向

●年間の応募者数

平成 30 年度の実験者数は、昨年度に比べて約 13,000 人の増加で 10 万 7 千人を超え、前年度比で約 14%の伸びとなりました。ペーパー方式から CBT 方式に移行した平成 24 年度以降では、過去最高となっています。また、年間実験者数が 10 万人を超えるのは、CBT 方式へ移行後で初となりました。

年度	上期	下期	合計
平成 24 年度	30,878 名	38,105 名	68,983 名
平成 25 年度	32,869 名	41,522 名	74,391 名
平成 26 年度	33,896 名	44,824 名	78,720 名
平成 27 年度	35,696 名	45,253 名	80,949 名
平成 28 年度	37,513 名	48,792 名	86,305 名
平成 29 年度	40,554 名	53,744 名	94,298 名
平成 30 年度	45,221 名	61,951 名	107,172 名

●月別実験者数

月別実験者数は、年度末に実験者数が多くなる傾向があります。特に、平成 31 年 3 月は 16,401 名となり、今までの過去最高だった前年度 3 月比で、約 20%の伸びとなっています。

また、平成 30 年度の月別実験者数は、7 月を除きいずれも前年同月を超えており、4 月と 7 月を除く 10 か月で CBT 方式へ移行後としては過去最高になりました。

平成 28 年度	実験者数
平成 28 年 4 月	5,561 名
平成 28 年 5 月	5,298 名
平成 28 年 6 月	6,182 名
平成 28 年 7 月	7,151 名
平成 28 年 8 月	7,056 名
平成 28 年 9 月	6,265 名
平成 28 年 10 月	7,049 名
平成 28 年 11 月	6,152 名
平成 28 年 12 月	7,548 名
平成 29 年 1 月	7,307 名
平成 29 年 2 月	8,562 名
平成 29 年 3 月	12,174 名
合計	86,305 名

平成 29 年度	実験者数
平成 29 年 4 月	5,976 名
平成 29 年 5 月	5,728 名
平成 29 年 6 月	6,636 名
平成 29 年 7 月	7,894 名
平成 29 年 8 月	7,169 名
平成 29 年 9 月	7,151 名
平成 29 年 10 月	7,181 名
平成 29 年 11 月	6,523 名
平成 29 年 12 月	8,690 名
平成 30 年 1 月	8,277 名
平成 30 年 2 月	9,350 名
平成 30 年 3 月	13,723 名
合計	94,298 名

平成 30 年度	実験者数
平成 30 年 4 月	6,616 名
平成 30 年 5 月	6,687 名
平成 30 年 6 月	7,954 名
平成 30 年 7 月	7,513 名
平成 30 年 8 月	7,807 名
平成 30 年 9 月	8,644 名
平成 30 年 10 月	8,046 名
平成 30 年 11 月	7,653 名
平成 30 年 12 月	10,219 名
平成 31 年 1 月	9,539 名
平成 31 年 2 月	10,093 名
平成 31 年 3 月	16,401 名
合計	107,172 名

4. 教材ラインナップ

当社の「IT パスポート試験」教材のラインナップ(発売中)は、次のとおりです。

●書籍

No.	教材名	型番 価格(税別)	説明
1	2019 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集 ※シラバス Ver.4.0 対応	FPT1808 2,200 円	シラバス「Ver.4.0」にそって必要な知識を解説する教科書。出題範囲の体系的な学習に最適。シラバス「Ver.4.0」の新出用語は冒頭の章で詳細解説。本番さながらの CBT 試験を確認できる「過去問題プログラム」を添付し、過去問題 1,800 問(18 回分)を収録。全問に詳細な解説付きで、自動採点機能、弱点補強機能、問題検索機能等あり。 ※添付：自動採点付き過去問題プログラム CD-ROM、別冊 予想問題 解答と解説 ※購入特典：解説動画 10 点の視聴可能(スマホ・タブレット対応)
2	IT パスポート試験 直前対策 1 週間完全プログラム シラバス Ver3.0 準拠	FPT1523 1,200 円	シラバス (Ver3.0) に記載されている用語を解説した用語集。携帯に便利なポケットサイズ。添付のカラーフィルムを重ねて、重要用語を効率よく覚えられる。 ※添付：カラーフィルム
3	IT パスポート試験 書いて覚える 学習ドリル シラバス Ver3.0 準拠	FPT1524 1,000 円	シラバス (Ver3.0) に記載されている用語を書いて覚える形式の学習帳。重要用語を穴埋め形式で、解答を書き込んで覚えられる。 ※添付：別冊 解答
4	IT パスポート試験 でるかも 予想問題集	FPT1802 1,200 円	苦手分野攻略や実力アップに利用できる、試験の出題傾向に沿った予想問題集。 ※購入特典：「Web 試験」付き(予想問題 221 問と過去問題 400 の計 621 問を収録／詳細解説付き／スマホ・タブレット対応) ※シラバス (Ver.4.0) 対応の新試験(2019 年 4 月開始)範囲の予想問題も含む。

※詳しくは、<http://www.fom.fujitsu.com/goods/itpass/index.html> をご覧ください。

※上記 No.1~4 は、電子書籍でもご提供しています。なお、上記 No.1 の電子書籍には、Kindle 限定にて「Web 試験」付き(予想問題 123 問と過去問題 400 問の計 523 問を収録／詳細解説付き／スマホ・タブレット対応)の商品もあります。

●アプリ

No.	教材名	価格 (税込)	説明
1	Android 版(Google Play) IT パスポート試験過去問題集 600 問 平成 27 年-平成 29 年	600 円	スマホやタブレットで手軽に学習できるアプリ。 平成 27 春期、平成 27 年秋期、平成 28 年春期、 平成 28 年秋期、平成 29 年春期、平成 29 年秋 期の計 600 問(6 回分)を収録。
2	iOS 版 IT パスポート試験過去問題集 600 問 平成 27 年-平成 29 年	600 円	スマホやタブレットで手軽に学習できるアプリ。 平成 27 春期、平成 27 年秋期、平成 28 年春期、 平成 28 年秋期、平成 29 年春期、平成 29 年秋 期の計 600 問(6 回分)を収録。

※詳しくは、<http://www.fom.fujitsu.com/goods/ebook/ap.html> をご覧ください。

以 上